

輸送動向について（2月分）

平成25年3月

1. 輸送概況

今月は、北日本地区における大雪や強風による輸送障害等により、月全体で高速貨 165本が運休となった。

荷動きについては、国内需要の減少や、円高下で進められた生産の海外シフトを受けて輸出を中心に生産の減少があったものの、東日本大震災からの復旧に伴う一部メーカーの生産増があり、月全体では前年をわずかに上回った。

コンテナ貨物は、自動車部品、化学薬品等が前年を下回ったものの、紙・パルプ、エコ関連物資等が前年を上回り、全体では前年比 100.7%となった。自動車部品は国内需要の減少により減送となり、化学薬品は一部顧客の輸送中止等により減送となった。一方、紙・パルプは震災により被災した生産拠点の復旧、また、エコ関連物資は災害廃棄物の広域処理の進展によりそれぞれ増送となった。

車扱貨物は、一部区間での輸送終了に伴い減送となった石油をはじめ、すべての品目で前年を大きく下回り、全体では前年比 80.5%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,605	1,593	100.7%	18,606	17,688	105.2%
車 扱	909	1,128	80.5%	8,641	9,215	93.8%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	152	156	-4	97.4%
	化学工業品	155	154	1	100.6%
	化学薬品	115	123	-8	93.5%
	食料工業品	219	220	-1	99.5%
	紙・パルプ	251	230	21	109.1%
	他工業品	130	141	-11	92.2%
	積合せ貨物	161	152	9	105.9%
	自動車部品	75	88	-13	85.2%
	家電・情報機器	33	34	-1	97.1%
	エコ関連物資	42	29	13	144.8%
	その他の	272	266	6	102.3%
コンテナ計	1,605	1,593	12	100.7%	
車 扱	石油	648	816	-168	79.4%
	セメント・石灰石	106	123	-17	86.7%
	車 両	85	108	-23	78.8%
	その他の	69	81	-12	85.2%
	車 扱 計	909	1,128	-219	80.5%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）